(様式2)

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和元年 3月 9日
札幌市立手稲東小学校

1 本年度の重点目標

『A (挨拶) K (感謝) E (笑顔) の花あふれる手稲東小学校の子どもたちを目指して〈チームスマイル〉』

2 重点目標の具現化

- ◎ 学級・学年経営の充実・・・ ○子どもに寄り添い思いを受け止める ○名前を呼ぶ
○よさを認め合う ○歌を歌う
- ◎ 教職員力向上・・・ ○合同授業、交換授業、専科授業、TT の充実 ○教職員から率先してAKEを
○研修の充実

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
A K E	AKE (挨拶・感謝・笑顔) の花あふれる子どもの姿を目指した取組の充実	A	AKE (挨拶・感謝・笑顔) の指導の継続と、感謝・笑顔にさらに目を向けて深化を図る。異学年活動の継続と、一人一人を大切にした学級学年経営に努める。	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・AKE の取組が定着し、子どもたちはもちろんのこと、教師もにこやかに挨拶していて気持ちが良い。 ・さらに積極的に、自分から挨拶できる子どもが増えるとよい。 			
学 ぶ 力 の 育 成	一人一人が楽しく積極的に学ぶことができるよう、「わかる・できる」授業の工夫	A	新学習指導要領の実施と、算数に一ごプロジェクト・TT・外部講師の活用、ICT活用や専科授業、教科横断型授業の工夫充実に努める。	A	A
	人の話を聞いたり、自分の考えを話したり書いたりして表現する場の設定	B	子どもの実態や教科・教材の本質をおさえ、ねらいを明確にした授業の日常実践。教育実践発表会の開催により、参会者からのご指導の基に更なる改善に努める。	A	A
	自主的に学習用具の準備をするなど「手稲東スタンダード」の定着	A	「もの構え (持ち物などの共通理解)」「身構え」の定着を図る。	A	A
	日常的に本に親しみ、楽しく読んだり知識を得たりする読書活動の充実	B	図書の実用性を図り教科学習の「らぼーる」の活用を進め、また、朝読書の確実な実施による読書活動の促進。	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・進んで物事に取り組む姿勢が大事。「身構え、心構え」を普段から養うとよい。教師も教育実践発表会等で、積極的な授業改善をしていただくことを願っている。また、新学習指導要領を踏まえたカリキュラムの工夫も希望している。 ・学年により貸し出し状況いばらつきがある。図書館をもっと活用する工夫が必要ではないだろうか。 ・授業参観の折、授業中の児童は、しっかりと話が聞いていると感じた。 ・サタデースクールで指導をしていて、基礎の定着が大切であると感じる。繰り返し計算する学習も積極的に行ってほしい。 			
豊 か な 心 の 育 成	思いやりをもった行動やいろいろな人と仲良くする態度を養う異学年交流の充実	A	異学年交流の継続とともに、名札の着用の継続による個への声かけ、性別によらない名簿の導入など含め、個を大切に、よさや違いを認め合う学校作りに努める。	A	A
	友達と話し合い、自分事として問題解決を目指す道徳教育の充実	A	道徳の授業を通して、人としての生き方の醸成を図るとともに、道徳ノートやキャリアパスポートを活用して一人一人の学びや成長を大切にする。	A	A

(様式2)

学校関係者評価 委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の状況やニーズに対応することは簡単なことではないが、本校の特徴である「名前を呼び合う」「異学年交流」は、今後もしっかりと継続してほしい。上級生が下級生の面倒を見ることで、自己肯定感や思いやりの気持ちがより育つと思う。 ・性別によらない名簿は、どのような効果を期待しているのか、今後、見守りたい。 			
健やかな 身体の 育成	運動に親しむ子を育てる 体育科学習の充実と日常 的に体を使って遊ぶこと のできる環境の整備	B	グラウンドや中庭などの空間の工夫により遊 びや運動の場を広げるとともに、体育の授業 の充実、西区なわとび30秒チャレンジへの参 加などを通して、体力の向上を図る。	A	A
学校関係者評価 委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者送迎の配慮を呼びかけ、登下校はしっかりと歩かせてほしい。「まんチャレ」の取組もいいのでは？「まずは、歩く」そして「遊ぶ」で体力向上を図りたい。 ・車の送迎を軽減するには、安全対策に力を入れてほしい。 			
信頼される 学校	保護者や地域と連携し、安全・安心の学校を目指した 危機管理体制の整備	A	ツイタもんメールや学校HPを通して、情報 の発信に努め、保護者・地域との連携や危機管 理の充実を図る。	A	A
	学校の取組を分かりやすく 伝えるお便りや学校HPの 充実	A	お便りや学校HPを通した情報の発信の、さ らなる充実。	A	A
学校関係者評価 委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い道路を横断する児童が多いので、しっかりと左右の確認をする指導を、今後も行ってほしい。 ・ツイタもんメールは、新型コロナ対策で、そのよさが十分に発揮されていた。情報が確実で、対応が早かった。メールとHPとの情報発信のタイミングを適切にするとさらによいものになる。HPにお便りがPDFで掲載されたこともありがたい。 			

【そのほか】

- ・手稲東小の特色ある活動を楽しみにしている。時間等の制限がある中で、良い活動をしていると思う。
- ・子どもたちが楽しそうにしているので、大人も楽しくなる。9年1サイクルと考え、中学校を見据えた教育の取組もお願いしたい。
- ・図書館司書やボランティアが、とても生き生きと楽しそうに活動している姿を見る。PTA活動の環境が整っているということは、子どもたちの学校生活も充実していると察する。今後も継続されることを願っている。